※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　数学科

科目	数学Ⅱ	単位数	4
使用教科書	改訂版　新　高校の数学Ⅱ（数研出版）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	2	2
レポート	６通	６通
必要出席回数	２回	２回
テスト	○	○

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポート
  →教科書の例やレポート記載の QR コードを読み取り、動画視聴を行い作成しましょう。
- スクーリング
  →スクーリング出席日までにレポートを取り組みましょう。
  →わからない問題は質問しましょう。
- テスト
  →レポート、教科書を中心に出題されます。

２　学習の到達目標

複素数、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

(1) いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の 考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数 学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的 に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用 いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする 力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関 数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を 振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論 拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり， 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念，原理・法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。 いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考えにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身につけている。	いろいろな式，図形と方程式，指数・対数・三角関数及び微分・積分の考え方に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
● 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。 ● 学年末に５段階で評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	複素数と方程式 図形と方程式	式の計算 複素数と方程式 (式の証明) 点と直線 円	ａ：いろいろな式の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。いろいろな式を表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 ｂ：事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 ｃ：いろいろな式に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。	スクーリング 定期考査	スクーリング 定期考査	レポート スクーリング
後期	三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法	三角関数 指数関数･対数関数 微分法･積分法	ａ：様々な関数の基本的な概念原理法則等を体系的に理解し，知識を身につけている。様々な関数を表現・処理する仕方や推論方法などの技能を身につけている。 ｂ：事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりして数学的な考え方を身につけている。 ｃ：様々な関数に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとする。	スクーリング 定期考査	スクーリング 定期考査	レポート スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度